



日本災害情報学会

第19回学会大会プログラム



平成29(2017)年10月21日(土)・22日(日)

会場：京都大学宇治キャンパス(京都府宇治市五ヶ庄)

◎10月21日(土)

08:45	受付開始	[ハイブリッドスペース]
09:30-10:40	口頭発表(セッション1)	[A・B・C会場]
10:50-12:00	口頭発表(セッション2)	[A・B・C会場]
12:00-13:00	お昼休憩	
13:00-14:40	口頭発表(セッション3)	[A・B・C会場] ※A会場のみ14:20迄
15:00-17:00	公開シンポジウム	[A会場]
17:10-18:40	ポスターセッション	[ポスター会場]
19:00-20:30	懇親会	[宇治キャンパス内、大学生協]

◎10月22日(日)

09:00	受付開始	[ハイブリッドスペース]
09:30-10:40	口頭発表(セッション4)	[A・B・C会場]
10:50-12:00	口頭発表(セッション5)	[A・B・C会場]
12:00-13:00	お昼休憩	
13:00-14:40	口頭発表(セッション6)	[A・B・C会場] ※A会場のみ14:20迄
14:50-15:50	総会①	[A会場]
15:50-16:10	阿部賞・河田賞授与式	[A会場]
16:10-16:30	総会②	[A会場]
16:40-17:40	廣井賞授与式・記念講演	[A会場]

※各会場の詳細な場所は、次ページ以降をご確認ください。

◎発表会場など

[大会参加受付]	ハイブリッドスペース(宇治おうばくプラザ2階)
[口頭発表]	A会場：きはだホール(宇治おうばくプラザ1階) B会場：セミナー室1・2(宇治おうばくプラザ1階) C会場：セミナー室4・5(宇治おうばくプラザ1階)
[ポスター発表受付]	ハイブリッドスペース(宇治おうばくプラザ2階)
[ポスターセッション]	ポスター会場：同上
[懇親会]	大学生協(宇治キャンパス内)
[総会]	A会場：きはだホール(宇治おうばくプラザ1階)
[阿部賞・河田賞授与式]	A会場：同上
[廣井賞授与式・記念講演]	A会場：同上

◎参加費など

参加費	会員：2,000円	学生会員：1,000円	非会員：4,000円	学生非会員：2,000円
予稿集代	会員：2,000円	学生会員：1,000円	非会員：4,000円	学生非会員：2,000円
懇親会費	一般：5,000円	学生：3,000円		

本学会大会の開催には、「京都大学防災研究所共同研究助成金（一般研究集会 29K-08、および、特定研究集会 29C-05）」による補助を受けています。

【会場案内】

会場：京都大学宇治キャンパス
 〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄
 ホームページ <http://www.uji.kyoto-u.ac.jp/>

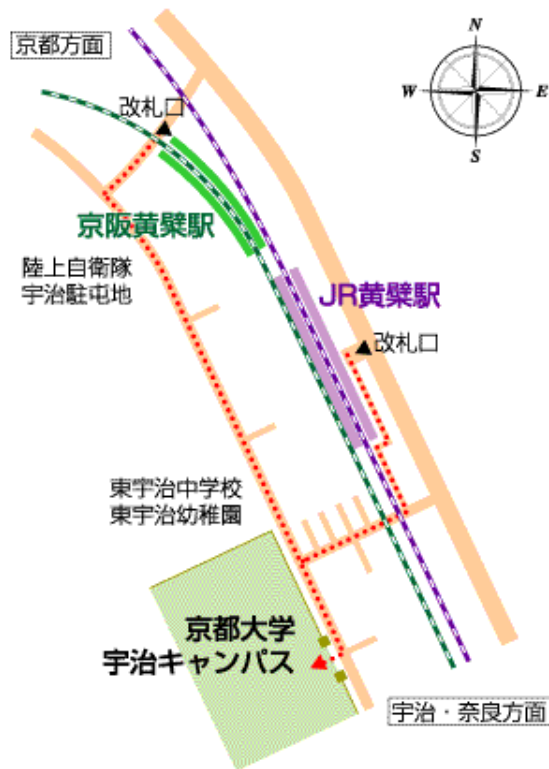


◎京都大学宇治キャンパスへのアクセス（鉄道）

- JR奈良線 黄檗（おうばく）駅下車 徒歩 5 分
 （京都駅→黄檗駅 所要時間約 20 分 ※注意：普通のみ停車。快速は停まりません。）
- 京阪宇治線 黄檗（おうばく）駅下車 徒歩 6 分

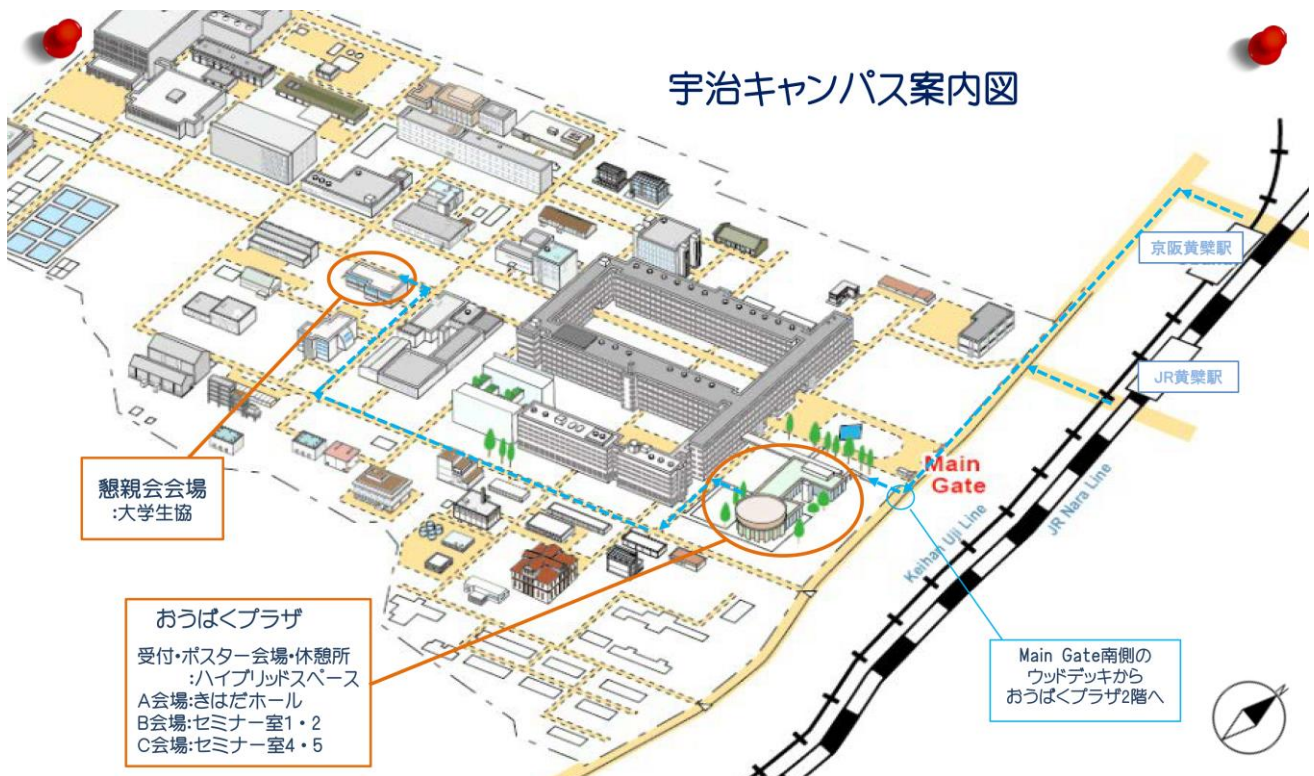


◎京都大学宇治キャンパスへのアクセス（最寄駅からの経路）



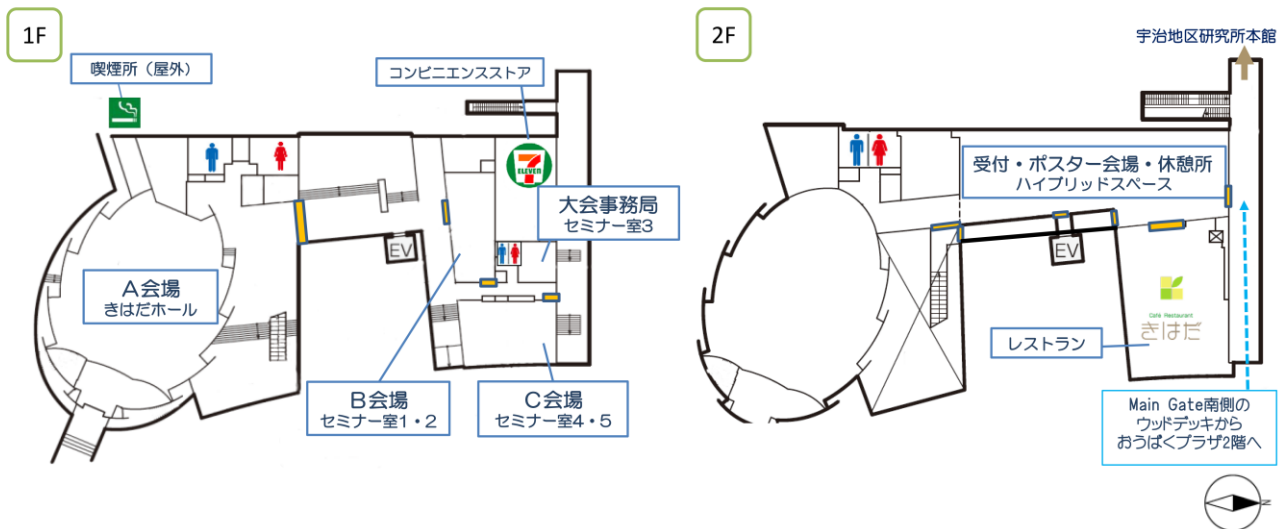
※会場内には駐車スペースがありませんので、車での来校は、ご遠慮ください。

◎京都大学宇治キャンパス内



◎大会参加受付・発表会場

おうばくプラザ案内図



【注意事項】

- ① 大会参加受付は、宇治おうばくプラザ2階ハイブリッドスペースとなります。
- ② ポスターセッションで発表される方は、まず大会参加受付を済ませてから、すぐ隣のポスターセッション受付にて、ポスターセッションの受付を行い、ポスターの掲示を行ってください。掲示に必要な画鋸はこちらで用意します。
- ③ ポスターの掲示可能な時間は1日目 08:45－2日目 10:00の間となります。2日目 10:00 迄にご自身のポスターは撤去するようにしてください。
- ④ 学会大会で使用する（指定された）会場以外の教室・会議室等には、絶対に入室しないでください。
- ⑤ ハイブリッドスペースの休憩所以外は飲食禁止となります。飲食はハイブリッドスペースをご利用ください。
- ⑥ 発生したごみについては、各自でお持ち帰りいただくようにお願いします。
- ⑦ 建物の中はすべて禁煙です。キャンパス内の喫煙所を利用してください（会場に案内図を掲示します）。
- ⑧ キャンパス内のコピー機は使用できません。コンビニエンスストアのコピー機は自費にて利用できます。
- ⑨ タクシーの手配が必要な場合は、各自でお願いします。
(参考) 宇治第一交通(株) TEL : 0774-24-4000 / 0120-55-4000
エムケイ(株) TEL : 075-778-4141
ワールドタクシー TEL : 0774-20-4649
- ⑩ 貴重品などの管理は各自で行ってください。万が一、盗難等発生しても、大会実行委員会では責任を負えません。

プログラム (簡易版)

		A会場(きはだホール)	B会場(セミナー室1・2)	C会場(セミナー室4・5)
1日目 (10/21)	セッション1 09:30-10:40	防災教育(1) 座長:尾畑 功	情報技術(1) 座長:千葉 啓広	地域防災(1)・経済 座長:永松 伸吾
	セッション2 10:50-12:00	災害報道(1) 座長:近藤 誠司	地震(1)・避難 座長:畑山 満則	国・自治体(1) 座長:坂上 寛之
	セッション3 13:00-14:40	国・自治体(2) 座長:伊勢 正 (※A会場は14:20迄)	防災教育(2)・地域防災(2) 座長:矢守 克也	風水害(1)・地域防災(3) 座長:向井 利明
	15:00-17:00	公開シンポジウム [A会場 (きはだホール)] つながる、つなげる - 災害情報の地域ネットワーク -		
	17:10-18:40	ポスターセッション [ポスター会場 (ハイブリッドスペース)] 発表番号奇数者: 在席責任時間 17:10-17:55 発表番号偶数者: 在席責任時間 17:55-18:40		
	19:00-20:30	懇親会 [宇治キャンパス内、大学生協]		
2日目 (10/22)	セッション4 09:30-10:40	火山 座長:阪本 真由美	防災教育(3) 座長:武村 雅之	地震(2)・災害報道(2) 座長:鷹野 澄
	セッション5 10:50-12:00	熊本地震(1) 座長:佐藤 翔輔	地域防災(4) 座長:及川 康	風水害(2) 座長:鈴木 康之
	セッション6 13:00-14:40	熊本地震(2) 座長:磯打 千雅子 (※A会場は14:20迄)	情報技術(2) 座長:石峯 康浩	九州北部豪雨 座長:牛山 素行
	14:50-16:30	総会、阿部賞・河田賞授与式 [A会場 (きはだホール)]		
	16:40-17:40	廣井賞授与式・記念講演 [A会場 (きはだホール)]		

口頭発表

■■A会場 きはだホール■■

1日目セッション1 09:30-10:40 ■■A会場 きはだホール■■

A1 防災教育(1) (座長 尾畑功)

- A1-1 防災教育の拡張の必要性－「医療」と「医学」のコミュニケーションから
富思斉（関西大学大学院社会安全研究科）
城下英行（関西大学社会安全学部）
- A1-2 マイクロブログと漫画表現を用いた防災知識の提供による防災意識向上の可能性の検証
榎田宗丈（和歌山大学システム工学部システム工学研究科）
福島拓（大阪工業大学情報科学部）
吉野孝（和歌山大学システム工学部）
本塚智貴（人と防災未来センター）
江種伸之（和歌山大学システム工学部）
- A1-3 リスク認知と規範が首都圏在住中国人の避難訓練参加に及ぼす影響
黄欣悦（東京大学 大学院学際情報学府）
- A1-4 歴史的治水施設見学が児童に与える災害認識への影響—江南市の小学校4年生社会科での防災教育事例報告—
尾畑功（国土交通省 木曽川上流河川事務所）
篠田由香里（江南市立古知野西小学校）
小林由佳（江南市立古知野西小学校）
永田和久（江南市立古知野西小学校）
堀与志郎（国土交通省 木曽川上流河川事務所）
春山成子（三重大学大学院 生物資源学研究科）

1日目セッション2 10:50-12:00 ■■A会場 きはだホール■■

A2 災害報道(1) (座長 近藤誠司)

- A2-1 テレビの郵便番号登録機能とデータ放送を活用した「避難情報のエリア限定強制表示」の実用化
木戸崇之（エー・ビー・シーリブラ制作部）
小南英司（朝日放送 技術局開発部）
- A2-2 ロボカメを活用した津波避難呼びかけ表現の検討：NHK 静岡放送局の研究活動報告
横尾泰輔（NHK 静岡放送局放送部）
大窪愛（NHK 静岡放送局放送部）
佐竹祐人（NHK 静岡放送局放送部）
早坂隆信（NHK 静岡放送局放送部）
吉田一貴（NHK 静岡放送局放送部）
里匠（NHK アナウンス室）

岩田孝仁（静岡大学防災総合センター）

田中淳（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）

A2-3 「改善した津波警報」をテレビはどう伝えたか —2016年11月22日 福島県沖 M7.4 を例に—
福島隆史（TBSテレビ報道局社会部）

A2-4 災害報道における遺体描写に関する基礎的考察—報道従事者と大学生を対象とした判断基準の比較分析—
近藤誠司（関西大学社会安全学部）

1日目セッション3 13:00-14:20 ■■A会場 きはだホール■■

A3 国・自治体（2）（座長 伊勢正）

A3-1 基礎自治体の防災対応能力の実態 - 職員への防災アンケート調査を基にした考察 -
穴井英之（名古屋大学減災連携研究センター）
新井伸夫（名古屋大学減災連携研究センター）

A3-2 南海トラフ地震タイムライン策定に向けた検討
紅林優樹（稲沢市総務部危機管理課（名古屋大学減災連携研究センター））
平山修久（名古屋大学減災連携研究センター）
福和伸夫（名古屋大学減災連携研究センター）

A3-3 国難災害を迎撃する『防災省』創設の提言
河田恵昭（関西大学社会安全研究センター）

A3-4 南西レスキュー29における九州7県の災害情報連携
伊勢正（国立研究開発法人 防災科学技術研究所 社会防災システム研究部門）
高橋拓也（国立研究開発法人 防災科学技術研究所 社会防災システム研究部門）
磯野猛（国立研究開発法人 防災科学技術研究所 社会防災システム研究部門）
佐藤良太（国立研究開発法人 防災科学技術研究所 社会防災システム研究部門）
佐野浩彬（国立研究開発法人 防災科学技術研究所 社会防災システム研究部門）
花島誠人（国立研究開発法人 防災科学技術研究所 社会防災システム研究部門）
白田裕一郎（国立研究開発法人 防災科学技術研究所 社会防災システム研究部門）

2日目セッション4 09:30-10:40 ■■A会場 きはだホール■■

A4 火山（座長 阪本真由美）

A4-1 協議会方式による災害対策に関する考察
富澤周（福岡管区気象台気象防災部地域火山監視・警報センター）

A4-2 大地震による火山噴火の誘発
西村太志（東北大学理学研究科地球物理学専攻）

A4-3 平成 27 年箱根山火山活動における「風評被害」の実態について（最終報告）
竹田宜人（横浜国立大学）

A4-4 防災情報としての噴火警戒レベルに関する考察
阪本真由美（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科）

2日目セッション5 10:50-12:00 ■■A会場 きはだホール■■

A5 熊本地震（1）（座長 佐藤翔輔）

A5-1 熊本地震における緊急地震速報の利活用実態調査
赤石一英（気象庁地震火山部）
菅沼一成（気象庁地震火山部）
古謝植之（気象庁地震火山部）
田中淳（東京大学大学院総合防災情報研究センター）

A5-2 コンビニエンスストア店舗を活用した車中泊避難者への災害時情報提供について
坂東淳（徳島県危機管理部危機管理政策課）
北村幸司（徳島県危機管理部とくしまゼロ作戦課）

A5-3 平成 28 年熊本地震における地表地震断層と建物被害の関係
門馬直一（株式会社パスコ）
藤原広行（防災科学技術研究所）
中村洋光（防災科学技術研究所）
内藤昌平（防災科学技術研究所）
佐伯琢磨（防災科学技術研究所）
下村博之（株式会社パスコ）
山田哲也（株式会社パスコ）

A5-4 2016 年熊本地震災害におけるウェブ報道の量的傾向：それ以前の地震災害報道と比較して
佐藤翔輔（東北大学災害科学国際研究所）
今村文彦（東北大学災害科学国際研究所）

2日目セッション6 13:00-14:20 ■■A会場 きはだホール■■

A6 熊本地震（2）（座長 磯打千雅子）

A6-1 熊本地震に見る「地域の絆」と災害時の共助の関係性 — 「祭りのある地域は人的被害が少ない」は本当か—
澤田道夫（熊本県立大学総合管理学部総合管理学科）

A6-2 熊本地震を経験したことによる学生寮での防災行動および防災意識の変化
上久保祐志（熊本高等専門学校 建築社会デザイン工学科）
小林幸人（熊本高等専門学校 共通教育科）
橋本淳也（熊本高等専門学校 建築社会デザイン工学科）

勝野幸司（熊本高等専門学校 建築社会デザイン工学科）
川口彩希（熊本高等専門学校 建築社会デザイン工学科）
松田崇志（熊本高等専門学校専攻科 生産システム工学専攻）

A6-3 被災地住民が求める「生活情報」とその発信（2）～平成28年熊本地震被災地における世論調査から～
入江さやか（NHK 放送文化研究所 メディア研究部）

A6-4 熊本地震と東日本大震災が香川県内企業に与えた事業継続上の影響比較
磯打千雅子（香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 地域強靱化研究センター）
寒川卓治（香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構）
藤澤一仁（香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構）
金田義行（香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構）
白木渡（香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構）

■■B会場 セミナー室1・2■■

1日目セッション1 09:30-10:40 ■■B会場 セミナー室1・2■■

B1 情報技術(1) (座長 千葉啓広)

- B1-1 斜め写真ブラウザを用いたUAV空撮写真共有システム
杉田暁(中部大学 中部高等学術研究所 国際GISセンター)
井上公(防災科学技術研究所 社会防災システム研究部門)
旭佑治(株式会社デジタルアース・ラボ)
瀬古智秀(南伊勢町役場 防災課)
伊藤宏(特定非営利活動法人ドゥチュウブ)
古瀬勇一(株式会社ファルコン)
福井弘道(中部大学 中部高等学術研究所 国際GISセンター)
- B1-2 ソフト防災に資する情報品質の高い防災アプリの開発
有馬 昌宏(兵庫県立大学応用情報科学研究科)
田中健一郎(兵庫県企画県民部科学情報局情報企画課)
- B1-3 災害時に情報収集のために重視する手段と特性
水野一成(NTTドコモ モバイル社会研究所)
鈴木孝幸樹(NTTドコモ モバイル社会研究所)
吉良文夫(NTTドコモ モバイル社会研究所)
- B1-4 災害情報共有システムの社会実装に向けたマネジメントー基礎自治体の総合防災訓練への適用における課題ー
千葉啓広(名古屋大学減災連携研究センター)
倉田和己(名古屋大学減災連携研究センター)
坂上寛之(株式会社ファルコン)
新井伸夫(名古屋大学減災連携研究センター)
福和伸夫(名古屋大学減災連携研究センター)

1日目セッション2 10:50-12:00 ■■B会場 セミナー室1・2■■

B2 地震(1)・避難 (座長 畑山満則)

- B2-1 南海トラフの巨大地震発生と原油処理能力の関係
橋富彰吾(関西大学大学院社会安全研究科)
河田恵昭(関西大学社会安全研究センター長・特別任命教授)
- B2-2 東日本大震災で通所系介護事業所の避難行動決定過程と災害亜急性期に果たした役割
森寛子(東京都健康長寿医療センター研究所)
菅原康宏(東京都健康長寿医療センター研究所)
大淵修一(東京都健康長寿医療センター研究所)
高橋龍太郎(東京都健康長寿医療センター研究所)

B2-3 糸魚川市大規模火災における避難行動調査

廣井悠（東京大学大学院工学系研究科）
松原龍（日本ミクニヤ（株））
有友春樹（日本ミクニヤ（株））
渡辺竜之（日本ミクニヤ（株））

B2-4 ビッグデータ解析による避難場所同定に関する考察

畑山満則（京都大学防災研究所）
船越康希（NTT 西日本）

1日目セッション3 13:00-14:40 ■■B会場 セミナー室1・2■■

B3 防災教育（2）・地域防災（2）（座長 矢守克也）

B3-1 “火の用心”CM のキャンペーン効果に関する分析ー京丹波町ケーブルテレビにおけるアクション・リサーチー

松尾晃大（株式会社ジュピターテレコム）
近藤誠司（関西大学社会安全学部）
西村公貴（京丹波町ケーブルテレビ）
芥田慶祐（関西大学社会安全学部）

B3-2 「想定外」への対応とは（その1）ー「コミットメント」と「コンティンジェンシー」ー

矢守克也（京都大学防災研究所）
杉山高志（京都大学大学院情報学研究科）
李 勇昕（京都大学防災研究所）

B3-3 「逃げトレ」の活用法に関する研究

李勇昕（京都大学防災研究所）
矢守克也（京都大学防災研究所）
杉山高志（京都大学大学院情報学研究科）

B3-4 「逃げトレ」の教育効果に関する研究 ～キャラクターとプレイヤーの視座を用いた分析～

杉山高志（京都大学大学院情報学研究科）
李 勇昕（京都大学防災研究所）
矢守克也（京都大学防災研究所）

B3-5 都心商業集積地の防災課題の整理と対応策の具体化～原宿・表参道・竹下 BOSAI MANGA MAP の制作と配布～

佐藤慶一（専修大学ネットワーク情報学部）
大矢根淳（専修大学人間科学部）
吉井博明（東京経済大学）

B3-6 クライストチャーチ地震における意見集約事業の実際 ー復興の理念はいかにして創出されたのかー

小林秀行（明治大学情報コミュニケーション学部）
佐藤慶一（専修大学ネットワーク情報学部）

2日目セッション4 09:30-10:40 ■■B会場 セミナー室1・2■■

B4 防災教育(3) (座長 武村雅之)

B4-1 東日本大震災以後の学校津波防災教育の実施効果とその効果に関する考察～田辺市と黒潮町を事例として～

小島彰吾 (株式会社アイ・ディー・エー 社会技術研究所)

金井昌信 (群馬大学大学院理工学府 広域首都圏防災研究センター 准教授)

片田敏孝 (東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター 特任教授)

B4-2 来館者アンケートに見る防災ミュージアムにおける学び合い

城下英行 (関西大学社会安全学部)

岡悠斗 (元関西大学社会安全学部)

B4-3 「地域気象情報」を中心に「主体性」に着目した 防災教育の展開

河田慈人 (京都大学大学院情報学研究科)

矢守克也 (京都大学防災研究所)

竹之内健介 (京都大学防災研究所)

B4-4 博物館明治村での関東大震災：文化財は生き証人だ！

武村雅之 (名古屋大学減災連携研究センター)

2日目セッション5 10:50-12:00 ■■B会場 セミナー室1・2■■

B5 地域防災(4) (座長 及川康)

B5-1 逃げシルベ：避難時間を可視化する逃げ地図作成 Web システム

谷岡遼太 (和歌山大学大学院システム工学研究科)

吉野孝 (和歌山大学システム工学部)

江種伸之 (和歌山大学システム工学部)

B5-2 地域の災害特性の横断的相対評価手法の開発

佐野浩彬 (防災科学技術研究所社会防災システム研究部門)

三浦伸也 (防災科学技術研究所社会防災システム研究部門)

半田信之 (防災科学技術研究所社会防災システム研究部門)

李泰榮 (防災科学技術研究所社会防災システム研究部門)

田口仁 (防災科学技術研究所社会防災システム研究部門)

白田裕一郎 (防災科学技術研究所社会防災システム研究部門)

B5-3 避難所運営ゲームへの障害者の参加

北村弥生 (国立障害者リハビリテーションセンター研究所)

B5-4 災害履歴に対する時間感覚に関する分析

及川康 (東洋大学理工学部都市環境デザイン学科)

片田敏孝 (東京大学大学院情報学環)

Keerati SRIPRAMAI (Mahidol University, Kanchanaburi Campus, Environmental Engineering and

2日目セッション6 13:00-14:40 ■■B会場 セミナー室1・2■■

B6 情報技術(2) (座長 石峯康浩)

- B6-1 倒壊と道路閉塞のシミュレーションを行う3次元ハザードマップの自動生成
杉原健一(岐阜経済大学 経営学部 情報メディア学科)
沈 振江(金沢大学 理工研究域 環境デザイン学系)
- B6-2 災害応急対応における衛星観測の適用可能性について
中村太一(ジャパンメンテナンスアンドオペレーションサービス株式会社)
- B6-3 無線通信技術「LPWA」を活用した防災行政無線情報発信の通信実験
湯瀬裕昭(静岡県立大学経営情報学部)
柴田義孝(岩手県立大学)
菅原巧貴(テクノサイト)
中川泰典(テクノサイト)
小野晶規(島田市役所)
- B6-4 3D 奥行きセンサを搭載したスマートフォンを用いた AR 災害疑似体験アプリの開発と防災教育における活用
板宮朋基(愛知工科大学工学部情報メディア学科)
吉村達之(三鷹中央学園三鷹市立第七小学校)
- B6-5 災害派遣精神医療チーム(DPAT)向けの準リアルタイム震度情報提供システムの開発
石峯康浩(鹿児島大学地域防災教育研究センター)
久保達彦(産業医科大学公衆衛生学教室)
小見めぐみ(DPAT 事務局)
渡路子(DPAT 事務局)

■■C会場 セミナー室4・5■■

1日目セッション1 09:30-10:40 ■■C会場 セミナー室4・5■■

C1 地域防災(1)・経済 (座長 永松伸吾)

C1-1 東日本大震災前後の製造業における取引の変化について

黒田望 (京都大学大学院情報学研究科)
藤井将大 (京都大学大学院情報学研究科)
多々納裕一 (京都大学防災研究所)

C1-2 四国地域の災害に強い地域産業のあり方について

寒川卓治 (香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構地域強靱化研究センター)
磯打千雅子 (香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構地域強靱化研究センター)
金田義行 (香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構地域強靱化研究センター)

C1-3 企業間取引データの標本特性について

藤井将大 (京都大学大学院情報学研究科)
黒田望 (京都大学大学院情報学研究科)
多々納裕一 (京都大学防災研究所)

C1-4 災害リスク情報と市場メカニズム

永松伸吾 (関西大学社会安全学部)

1日目セッション2 10:50-12:00 ■■C会場 セミナー室4・5■■

C2 国・自治体(1) (座長 坂上寛之)

C2-1 避難行動要支援者名簿の政策課題に関する調査研究

陸川貴之 (関西大学大学院社会安全研究科)
河田恵昭 (関西大学社会安全研究科)

C2-2 大規模水害時における広域避難の社会的定着過程に関する一考察

丸山一樹 (アイ・ディー・エー 社会技術研究所)
片田 敏孝 (東京大学大学院 情報学環)
兒玉 真 (アイ・ディー・エー 社会技術研究所)

C2-3 基礎自治体で運用中の災害対応システムに対する全庁訓練に基づいた評価 その①訓練概要と災害対策本部運営から見た諸課題の考察

丸田雅靖 (豊橋市役所防災危機管理課)
倉田和己 (名古屋大学減災連携研究センター)
坂上寛之 (株式会社ファルコン)

C2-4 基礎自治体で運用中の災害対応システムに対する全庁訓練に基づいた評価 その② システム利用の有効性に関する分析

坂上寛之 (株式会社ファルコン)

丸田雅靖（豊橋市役所防災危機管理課）
倉田和己（名古屋大学減災連携研究センター）

1日目セッション3 13:00-14:40 ■■C会場 セミナー室4・5■■

C3 風水害（1）・地域防災（3）（座長 向井利明）

- C3-1 2017年7月九州北部豪雨における「#救助」ツイートの発信状況とその考察
須藤龍也（朝日新聞社 報道局編集委員）
佐藤翔輔（東北大学 災害科学国際研究所）
- C3-2 地域の実情を踏まえたタイムライン策定の必要性
作間敦（特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構 環境・防災研究所）
松本健一（特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構）
広田達郎（特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構）
大石温子（特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構）
松尾一郎（特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構 環境・防災研究所）
- C3-3 平成28年8月台風10号豪雨における情報伝達と避難行動：地区ごとの比較より
安本真也（（元）早稲田大学政治学研究所）
牛山素行（静岡大学防災総合センター）
関谷直也（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）
- C3-4 大雨に関する災害危険度認知と避難行動意向 ～避難情報の対象者絞り込みは住民に伝わるのか
杉村晃一（静岡市役所危機管理総室）
牛山素行（静岡大学防災総合センター）
- C3-5 広島豪雨における気象防災情報の伝達と避難行動に関する現地調査
若月泰孝（茨城大学理学部）
其田有輝也（一般財団法人日本気象協会）
伊藤哲司（茨城大学人文社会科学部）
- C3-6 大雨警報（土砂災害、浸水害）等の住民伝達の現状
向井利明（長野地方気象台）
牛山素行（静岡大学防災総合センター）

2日目セッション4 09:30-10:40 ■■C会場 セミナー室4・5■■

C4 地震（2）・災害報道（2）（座長 鷹野澄）

- C4-1 『福島民報』の言説構造—福島第一原発事故報道を事例に—
矢内真理子（同志社大学大学院社会学研究科）
- C4-2 緊急地震速報の本運用から10年—社会調査から考える人々の意識・評価の変遷—
中森広道（日本大学文理学部社会学科）

- C4-3 災害時疎開シミュレーションの構築と検証
齊藤健太（名古屋大学大学院）
廣井悠（東京大学大学院工学系研究科）
福和伸夫（名古屋大学減災連携研究センター）

- C4-4 緊急地震速報（警報）の発表方法を考える
鷹野澄（東京大学）

2日目セッション5 10:50-12:00 ■■C会場 セミナー室4・5■■

C5 風水害（2）（座長 鈴木康之）

- C5-1 都市型水害におけるリアルタイム避難シミュレーションの提案
廣井慧（名古屋大学未来社会創造機構）
- C5-2 中小河川の洪水と「洪水警報の危険度分布」
竹順哉（気象庁予報部予報課気象防災推進室）
高木康伸（気象庁予報部予報課気象防災推進室）
太田琢磨（気象庁予報部予報課気象防災推進室）
坪井嘉宏（気象庁予報部予報課気象防災推進室）
末田智也（気象庁予報部予報課気象防災推進室）
- C5-3 静岡県における大雨警報事例の警報基準超過率、猶予時間及び浸水害発生率に関する調査
本田彰（一般財団法人日本気象協会中部支社事業サービス課）
牛山素行（静岡大学防災総合センター）
- C5-4 避難訓練アプリによる水害危険度可視化システム(3) APRSDroid-WiFi による移動端末軌跡リアルタイム表示
鈴木康之（静岡大学大学院 総合科学技術研究科 工学専攻）
杉本 等（株式会社 パドラック・静岡大学客員教授）
森山 聡之（福岡工業大学 社会環境学科）

2日目セッション6 13:00-14:40 ■■C会場 セミナー室4・5■■

C6 九州北部豪雨（座長 牛山素行）

- C6-1 XRAIN による平成 29 年 7 月豪雨の解析
森山聡之（福岡工業大学社会環境学部社会環境学科）
- C6-2 2017 年九州北部豪雨災害で明らかとなった被災自治体の災害対策本部の現状と課題（朝倉市を事例として）
田中健一（神戸大学大学院工学研究科）
沼田宗純（東京大学生産技術研究所都市基盤安全工学国際研究センター）

- C6-3 平成 29 年 7 月九州北部豪雨における住民の防災行動
草野富二雄（特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構）
松尾一郎（特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構 環境・防災研究所）
作間敦（特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構 環境・防災研究所）
荒木優弥（特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構）
谷原和憲（日本テレビ放送網（株）報道局ニュースセンター）
田中俊憲（（株）福岡放送 報道部）
- C6-4 平成 29 年 7 月九州北部豪雨及び秋田県豪雨における人工衛星画像などを活用した被害建物推計
宝楽裕（株式会社パスコ）
下村博之（株式会社パスコ）
山田哲也（株式会社パスコ）
川嶋瞬（株式会社パスコ）
切川卓也（環境省 環境再生・資源循環局 災害廃棄物対策室）
小寺勇栄（環境省 環境再生・資源循環局 災害廃棄物対策室）
- C6-5 平成 29 年 7 月九州北部豪雨による人的被害の特徴(序報)
牛山素行（静岡大学防災総合センター）
本間基寛（日本気象協会）
横幕早季（静岡大学防災総合センター）
杉村晃一（静岡市役所）

ポスターセッション

■■ポスター会場 ハイブリッドスペース■■

1日目ポスターセッション 17:10-18:40 ■■ポスター会場 ハイブリッドスペース■■

(発表番号奇数：在席責任時間 17:10-17:55, 発表番号偶数：在席責任時間 17:55-18:40)

- P1 被災疑似体験とその対策を繰り返し示すことによる防災教育システム
中本涼菜 (和歌山大学大学院 システム工学研究科 吉野研究室)
谷岡遼太 (和歌山大学大学院 システム工学研究科 吉野研究室)
吉野孝 (和歌山大学 システム工学部デザイン情報学科)
- P2 T@mpi 災害時安否確認システム
宇津圭祐 (東海大学 情報通信学部通信ネットワーク工学科)
阿部 満里子 (東海大学 情報通信学部通信ネットワーク工学科)
内田 理 (東海大学 情報理工学部情報科学科)
- P3 日常利用を想定した隠蔽型防災情報提示システムの開発
志垣沙灯子 (和歌山大学システム工学部デザイン情報学科)
榎田宗文 (和歌山大学大学院システム工学研究科)
吉野孝 (和歌山大学システム工学部)
- P4 防災エッグ：日常の災害対策を身近にする防災ソーシャルゲームシステム
谷岡遼太 (和歌山大学大学院システム工学研究科)
吉野孝 (和歌山大学システム工学部)
- P5 夜間用津波避難誘導標識の整備状況に関する研究 —静岡県下の沿岸市町を対象として—
渡邊亮 (日本大学 大学院理工学研究科博士前期課程海洋建築工学専攻)
桜井慎一 (日本大学 理工学部海洋建築工学科)
寺口敬秀 (日本大学 理工学部海洋建築工学科)
塚本寛人 (住友林業株式会社)
菊池諄光 (株式会社東急ホームズ)
- P6 東日本大震災に関する公開動画検索システムの構築：「動画でふりかえる 3.11—東日本大震災公開動画フ
ァインダー—」
佐藤翔輔 (東北大学災害科学国際研究所)
岡元徹 (日本総合システム株式会社)
今村文彦 (東北大学災害科学国際研究所)
- P7 過去地図と史跡から災害を考える ヒストリカルハザードマップ
中井春香 (ナカシャクリエイテブ株式会社)
久世晋一郎 (ナカシャクリエイテブ株式会社)
陶俊 (ナカシャクリエイテブ株式会社)

- P8 コミュニケーションする災害情報時代の展望
竹之内健介（京都大学防災研究所）
- P9 Twitter を用いた位置情報記録・救助要請のための Web アプリケーション
西川修史（東海大学情報通信学部通信ネットワーク工学科）
内田 理（東海大学情報理工学部情報科学科）
宇津 圭祐（東海大学情報通信学部通信ネットワーク工学科）
- P10 防災教育における「参加型」・「伝達型」モデルの関係性
岩堀卓弥（京都大学防災研究所）
矢守 克也（京都大学 防災研究所）
飯尾 能久（京都大学 防災研究所）
米田 格（京都大学 防災研究所）
城下 英行（関西大学 社会安全学部）
- P11 地震発生時の初動に関する認識の差、屋内と屋外での比較 —高校生の実践例—
柴山愛（日本大学第三中学校・高等学校）
西澤文勝（首都大学東京 都市環境科学部 地理環境コース）
- P12 後期高齢者を対象とした屋内避難訓練の分析
杉山高志（京都大学大学院情報学研究科）
矢守克也（京都大学防災研究所）
- P13 まち歩き型の情報収集に対応した防災マップづくり一貫支援システムの開発
榎田宗丈（和歌山大学システム工学部システム工学研究科）
福島拓（大阪工業大学情報科学部）
吉野孝（和歌山大学システム工学部）
杉本賢二（和歌山大学システム工学部）
江種伸之（和歌山大学システム工学部）
- P14 小中学校における防災教育の多様な教育効果の検討
石井美帆（群馬大学大学院理工学府 環境創生理工学教育プログラム）
金井昌信（群馬大学大学院理工学府 広域首都圏防災研究センター）
片田敏孝（東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター 特任教授）
- P15 児童生徒とその保護者を対象とした”津波てんでんこ”の促進・阻害要因の検討
上道葵（群馬大学大学院理工学府 環境創生理工学教育プログラム）
金井昌信（群馬大学大学院理工学府 広域首都圏防災研究センター）
片田敏孝（東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター 特任教授）
- P16 自治体防災担当部署の規模と所管業務に関する現状分析
宮崎麻央（群馬大学大学院理工学府 環境創生理工学教育プログラム）
金井昌信（群馬大学大学院理工学府 広域首都圏防災研究センター）
片田敏孝（東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター）

- P17 大規模災害時の避難所対策の課題と新たな取組 ―今、改めて問う「10の提言」―
牧草ひとみ（株式会社MJC 減災事業部）
- P18 学校防災教育における教科横断型のカリキュラム構築の研究
岡田夏美（京都大学大学院情報学研究科）
矢守克也（京都大学防災研究所）
- P19 日米の災害対応に関する組織化原理の相違点―事変指揮システム導入に伴う諸問題の検討―
木佐森健司（東海大学経営学部経営学科）
- P20 屋内における災害時安否・所在確認システムの構築に関する実証実験
宮脇健（日本大学 危機管理学部）
谷口郁生（日本大学スポーツ科学部）
小向太郎（日本大学危機管理学部）
- P21 360VR カメラによる災害記録のアーカイブ化
外園慶明（福岡工業大学社会環境学科）
森山聡之（福岡工業大学社会環境学科）
- P22 水害タイムラインの取り組みから見える課題とその解決策
伊藤晋（環境防災総合政策研究機構 環境・防災研究所）
加村邦茂（環境防災総合政策研究機構 環境・防災研究所）
- P23 地域における災害時要配慮者対策の体系化と課題の考察
陸川貴之（関西大学大学院社会安全研究科）
河田恵昭（関西大学社会安全研究科）
- P24 “共感”による主体性醸成を目指した防災教育にみるコミュニケーション・デザインに関する考察～社会ネットワーク理論を用いた授業記述をとおして～
小島彰吾（株式会社アイ・ディー・エー 社会技術研究所）
片田敏孝（東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター 特任教授）
- P25 観光客の津波避難等行動特性調査の一事例
有友春樹（日本ミクニヤ株式会社 環境防災部）
松本舞恵（日本ミクニヤ株式会社 環境防災部）
亀井勝一郎（藤沢市 防災安全部 危機管理課）
和田剛二（藤沢市 防災安全部 危機管理課）
- P26 鳥取県中部地震での衛星画像によるブルーシート被覆建物の自動抽出
本田禎人（株式会社パスコ 中央事業部）
望月貫一郎（株式会社パスコ パスコ総合研究所）
下村博之（株式会社パスコ 中央事業部）
門馬直一（株式会社パスコ パスコ総合研究所）

- P27 流言に関する気づきを提供するシステムの開発
 柿本大輔（和歌山大学大学院 システム工学研究科 システム工学専攻 吉野研究室）
 宮部真衣（諏訪東京理科大学 経営情報学部）
 荒牧英治（奈良先端科学技術大学院大学 研究推進機構）
 吉野孝（和歌山大学 システム工学部）
- P28 2つの地震リスク情報と不動産市場の反応
 今泉賢吾（関西大学大学院社会安全研究科防災・減災専攻）
 永松伸吾（関西大学大学院社会安全研究科）
- P29 地震発生時の「共助」を促進する要因に関する研究－熊本地震の被災者のアンケート調査－
 宮脇健（日本大学 危機管理学部）
 山下博之（日本大学 危機管理学部）
- P30 災害時の SNS 投稿に対する行動意図を予測する諸要因－平時の Twitter 利用との関連－
 田島祥（東海大学現代教養センター）
 内田 理（東海大学情報理工学部情報科学科）
 宇津圭祐（東海大学情報通信学部通信ネットワーク工学科）
 富田 誠（東海大学教養学部芸術学科）
 梶田佳孝（東海大学工学部土木工学科）
 山本義郎（東海大学 理学部数学科）
- P31 災害ボランティアセンターからの情報共有による 多セクター間の連携促進要因 －平成 28 年熊本地震・益城町における事例分析－
 池田真幸（国立研究開発法人防災科学技術研究所）
 水井良暢（国立研究開発法人防災科学技術研究所）
 鈴木雅文（一般社団法人みやぎ福祉・防災情報化機構）
- P32 平成 29 年九州北部豪雨への情報支援の概要および遠隔支援の試みについて
 伊勢正（国立研究開発法人 防災科学技術研究所 社会防災システム研究部門）
 高橋拓也（国立研究開発法人 防災科学技術研究所 社会防災システム研究部門）
 磯野猛（国立研究開発法人 防災科学技術研究所 社会防災システム研究部門）
 佐藤良太（国立研究開発法人 防災科学技術研究所 社会防災システム研究部門）
 佐野浩彬（国立研究開発法人 防災科学技術研究所 社会防災システム研究部門）
 花島誠人（国立研究開発法人 防災科学技術研究所 社会防災システム研究部門）
 白田裕一郎（国立研究開発法人 防災科学技術研究所 社会防災システム研究部門）
- P33 「想定外」への対応とは（その 2）－「キャラクター」と「プレーヤー」－
 矢守克也（京都大学防災研究所）
 杉山高志（京都大学大学院情報学研究科）
 李 勇昕（京都大学防災研究所）
- P34 被災自治体による被災者への情報提供のあり方について －熊本地震で発行された臨時広報紙を対象とした検討－
 上園智美（日本ミクニヤ）

新井伸夫（名古屋大学減災連携研究センター）

P35 拡声声情報伝達における音素および単語親密度を考慮した単語の選定

天野成昭（愛知淑徳大学人間情報学部 人間情報学科）

山川仁子（尚絅大学 文化言語学部 文化言語学科）

P36 多機能型災害指揮を支援する消防・防災共有システムの開発

吉野孝（和歌山大学）

榎田宗丈（和歌山大学）

松田修亮（和歌山市消防局）

後岡宏（和歌山市消防局）

P37 災害資料アーカイブ機関間の連携

堀田弥生（防災科学技術研究所 総合防災情報センター 自然災害情報室、全国市有物件災害共済会 防災専門図書館）

鈴木比奈子（防災科学技術研究所 総合防災情報センター 自然災害情報室）

白田裕一郎（防災科学技術研究所 総合防災情報センター 自然災害情報室）

P38 市区町村における外国人を対象とした防災対策の現状についてのアンケート調査結果

黒田洋司（消防防災科学センター）

小松幸夫（消防防災科学センター）

齋藤泰（消防防災科学センター）

飯塚智規（消防防災科学センター）

P39 地方自治体火山防災担当職員の火山研修プログラムの試案

吉本充宏（山梨県富士山科学研究所）

藤井敏嗣（山梨県富士山科学研究所）

川南結（山梨県富士山科学研究所）

新堀賢志（NPO 法人火山防災推進機構）

金野慎（NPO 法人火山防災推進機構）

井口正人（京都大学防災研究所）

中田節也（東京大学地震研究所・防災科学技術研究所）

P40 津波避難を想定した沿岸部を走行する列車乗客向け避難情報提供システムの一提案

塚田晃司（和歌山大学システム工学部システム工学科）

西川 一弘（和歌山大学クロスカル教育機構（生涯学習部門））

P41 小学校教員現職研修としての防災に関する連携授業「土砂災害を中心に」

林武広（比治山大学現代文化学部）

土井 徹（富山大学発達科学部）

藤川義範（科学わくわくプロジェクト実行委員会委員）

P42 スマート雨水タンクの実装状況と今後の展開について（その2）

森山聡之（福岡工業大学社会環境学科）

和泉信生（崇城大学情報学科）

森下功啓（熊本高等専門学校）
西山浩司（九州大学）
角銅久美子（福岡県建築士会）

- P43 災害時にコミュニティ放送を活かすための課題と準備
三浦伸也（防災科学技術研究所社会防災システム研究部門）
坪川博彰（防災科学技術研究所社会防災システム研究部門）
- P44 福島沖地震津波時の避難行動
宇田川真之（公益法人ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 人と防災未来センター 研究部）
田中 淳（東京大学大学院情報学環）
- P45 平常時の地域福祉・防災活動と災害ボランティアセンター設置訓練における災害情報の利活用検証
水井良暢（防災科学技術研究所社会防災システム研究部門）
李泰榮（防災科学技術研究所社会防災システム研究部門）
池田真幸（防災科学技術研究所社会防災システム研究部門）
半田信之（防災科学技術研究所社会防災システム研究部門）
臼田裕一郎（防災科学技術研究所社会防災システム研究部門）
- P46 災害情報共有アプリ「さいれば」の開発
内田理（東海大学情報理工学部情報科学科）
小杉 将史（ヤフー株式会社）
有田 亮平（東海大学教養学部芸術学科デザイン学課程）
笹 有輝也（東海大学教養学部芸術学科デザイン学課程）
富田 誠（東海大学教養学部芸術学科デザイン学課程）
宇津 圭祐（東海大学情報通信学部通信ネットワーク工学科）
田島 祥（東海大学現代教養センター）
梶田 佳孝（東海大学工学部土木工学科）
山本 義郎（東海大学理学部数学科）
- P47 地域の防災取り組みに資する情報の体系化の試み
李泰榮（防災科学技術研究所）
島崎敢（防災科学技術研究所）
崔青林（防災科学技術研究所）
臼田裕一郎（防災科学技術研究所）
- P48 平成 28 年熊本地震における衛星画像等を活用した建物倒壊棟数の推定
宝楽裕（株式会社パスコ）
下村博之（株式会社パスコ）
山田哲也（株式会社パスコ）
川嶋瞬（株式会社パスコ）
切川卓也（環境省 環境再生・資源循環局 災害廃棄物対策室）
小寺勇栄（環境省 環境再生・資源循環局 災害廃棄物対策室）